

C 協働学習 (C4)

主な学習活動

他地域における気象現象がもたらすめぐみと災害についての発表を聞き、自分たちの地域と比較する。

1 本時のねらい

他地域における気象現象がもたらすめぐみと災害についての発表を聞き、自分たちの地域と比較することで、自然と人間のかかわり方について自分の考えを表現することができる。

2 主に活用したICT機器・コンテンツ等

Google Meet

プレゼンテーション

電子黒板

3 参考にしてほしいポイント

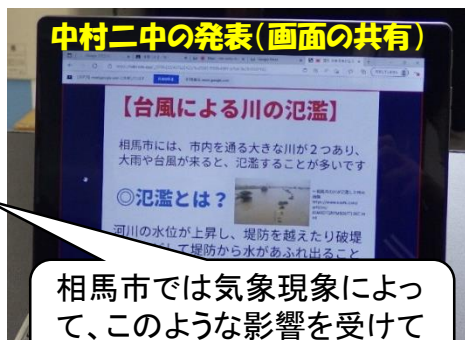
Google Meetを使って遠隔合同授業を行うことで、離れた地域にいる生徒の状況をより詳しく知ることができる。また、ロイロノートのスライド機能を使い、互いに画面共有をしながら発表することでより理解を深めることができる。

段階場面	主な学習活動	ICT機器活用のポイント
展開	気象現象が生活にもたらす影響について、両校の発表を行い、発表から気付いたことについて、リモートで話し合い活動を行う。	(Google Meet)リアルタイムで離れた地域の生徒の考えを聞くことで、天気の変化、日本の気象との関連性についての気付きがより促される。 (ロイロノート)自分が住む地域における気象現象が生活に与える影響について、班で協働しロイロノートでスライドを作成して、他地域の生徒に発表を行うことで規則性を見いだして表現する。

タブレット

+

電子黒板



相馬市では気象現象によって、このような影響を受けています！



地域によってめぐみも災害も全然違うね！

4 活用効果

生徒たちは、遠隔地の学校の生徒と発表し合うことで他地域における気候の特徴やそれらによってもたらされる生活への影響について、理解を深めることができた。また、気象現象がもたらすめぐみや気象災害について理解を深めるとともに、めぐみによって受ける恩恵や災害に対する備えとの関連についても理解することもできた。

5 アドバイザーからのコメント

気象がもたらす恵みと災害について、教科書やネットなどで調べた情報を全体として示すと、地域によって特色があります。統計的に言えば、それらはデータのばらつきですが、それぞれのデータを現実との関わりで知ることにより、より深くデータ(内容)を理解できます。(東京工業大学 赤堀侃司)

遠隔地にある他校の生徒と交流することにより自地域の特徴を捉えやすくなるほか、相違点を検討することができ、対象単元の特徴を生かすことができそうです。リアルタイム交流や共同編集ドキュメント等による協働的な学びを今後進めていくことが期待されます。(福島大学 平中宏典)